

第10章 高齢者福祉

1 老人ホーム定員の推移 (表1、図1) 【統計編 14-第3表】

令和6年度末の老人ホームの定員総数は15,732人で、前年より1人減少した。
内訳をみると、特別養護老人ホームが12,899人で、総数に占める割合は82.0%であった。
また、軽費老人ホームは1,886人で、近年は横這いの状態である。

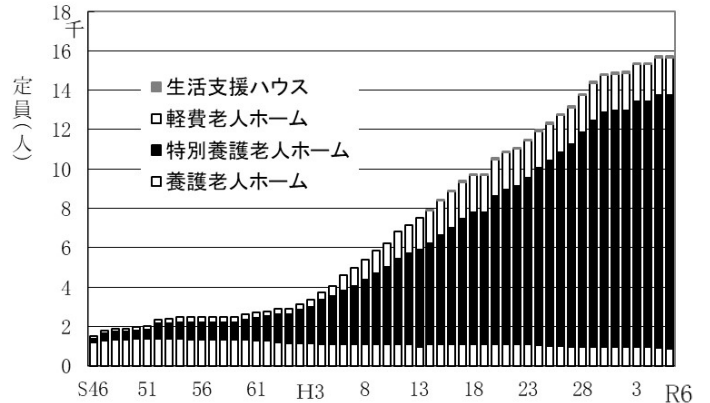
表1 老人ホーム定員の推移

(各年度末現在)

年度	養護老人ホーム	特別養護老人ホーム	軽費老人ホーム	生活支援ハウス	合計
昭和50	1,372	430	185	0	1,987
55	1,340	863	270	0	2,473
60	1,340	1,013	270	0	2,623
平成2	1,120	1,717	270	0	3,107
7	1,080	2,977	900	0	4,957
12	1,080	4,617	1,461	0	7,158
17	1,080	6,377	1,876	59	9,392
22	1,080	8,062	1,876	74	11,092
27	970	10,274	1,866	66	13,176
28	960	10,898	1,886	66	13,810
29	960	11,516	1,886	66	14,428
30	960	11,932	1,886	56	14,834
令和元	960	11,987	1,886	56	14,889
2	930	12,044	1,886	74	14,934
3	930	12,493	1,886	74	15,383
4	930	12,583	1,886	74	15,473
5	925	12,848	1,886	74	15,733
6	873	12,899	1,886	74	15,732

【出典】福祉行政報告例

図1 老人ホーム定員の推移



【出典】福祉行政報告例

2 後期高齢者医療費の推移 (表2、図2) 【統計編 10-第3表】

県内の後期高齢者医療対象者数は、平成14年度をピークに減少傾向にあったが、平成21年度から上昇に転じ、令和5年度の月平均対象者数は、315,944人である。

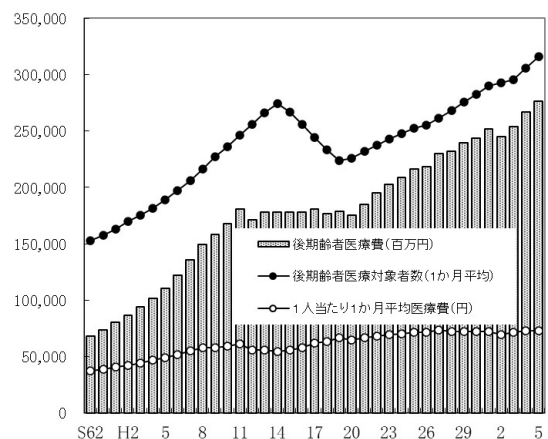
1人当たりの1ヶ月平均医療費は、72,932円となっており、前年度に比べ93円増加した。

後期高齢者医療費の総額は、平成11年度まで増加傾向にあり、その後平成20年度まではほぼ横這いで推移していたが、平成21年度以降は増加傾向となっている。

表2 後期高齢者医療費の推移

年度	後期高齢者医療対象者数(1か月平均)	1人当たり1か月平均医療費(円)	後期高齢者医療費(百万円)
昭和59	135,844	31,500	51,349
S62	152,509	37,209	68,096
63	157,757	38,868	73,581
平成元	162,843	40,988	80,095
6	196,979	51,626	122,030
11	246,110	61,321	181,101
16	256,197	57,862	177,888
17	244,647	61,707	181,158
18	233,485	62,997	176,507
19	223,809	66,473	178,525
20	226,210	64,610	175,384
21	232,046	66,505	185,186
22	237,665	68,405	195,089
23	242,837	69,559	202,698
24	247,932	70,197	208,848
25	252,372	71,400	216,231
26	255,333	71,245	218,293
27	261,279	73,282	229,766
28	268,518	72,108	232,347
29	275,880	72,442	239,825
30	282,874	71,889	244,026
令和元	290,002	72,400	251,953
2	292,854	69,689	244,903
3	295,530	71,558	253,770
4	305,717	72,839	267,219
5	315,944	72,932	276,511

図2 後期高齢者医療費の推移



【出典】後期高齢者医療事業状況報告

注：表2・図2ともに平成20年度の後期高齢者医療制度の発足に伴い、平成19年度以前は老人医療制度、平成19年度以降は後期高齢者医療制度、平成20年度は2つの制度の合算である。